

令和2年 湖西市議会9月定例会

市長あいさつ

令和2年9月2日

皆様、おはようございます。

本日から、令和2年9月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

9月に入り、朝夕少しは涼しさも感じられるようになりましたが、8月には記録的な猛暑が続き、お隣の浜松市では、国内観測史上最高と並ぶ、41.1度を記録しました。同じ頃には湖西市の消防署でも39.3度を記録し、熱中症で搬送された方は、疑いも含めて、8月だけで37件となっております。皆様におかれましても、体調には十分にご留意いただければと思います。

#### (新型コロナウイルス関連)

さて、まずは新型コロナウイルス関連につきまして、8月24日に湖西市においても新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。湖西市での感染者は、県が8月22日から、感染者の居住地の市町名を、本人の同意がなくても公表することとして以降、初めてとなります。現在、県・浜松市など関係機関と緊密に連携をとり、情報の収集・迅速な発信と感染拡大防止に努めているところですが、新たな感染は確認されておりません。

感染者の濃厚接触者については保健所が調査した上で特定し、PCR検査及び自宅待機の要請と健康観察を行うなどの適切な対応をとっています。市民の皆様におかれましては、感染者とそのご家族並びに関係者の方々の人権尊重・個人情報保護にご配慮いただくとともに、噂など不確かな情報に惑わされることなく、引き続き冷静にご対応いただき、いたずらに誹謗・中傷などされませんようお願いしてまいります。

今は、いつ、誰が感染してもおかしくはない状況にあります。新型コロナウイルスを市内に「持ち込まない、持ち込ませない」ために、クラスター等が発生している場所や感染が拡大している地域への移動の回避、「3密」の回避やこまめな手洗い・消毒、また、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールなども、併せてお願いしてまいります。

本市においては、先の臨時議会においてご承認をいただいた補正予算により、PCR検査を行うための「地域外来・検査センター」を8月12日に設置しました。8月末現在、14名の方が検査を受けられております。今後も、市民の皆様適切な対応が図られるよう、検査体制を維持してまいります。

また、議員の皆様をはじめとするご支援とご協力をいただく中で創設した「新型コロナウイルスこさい助け合い基金」につきましては、8月末現

在でガバメントクラウドファンディング、窓口や郵送による寄付を合わせた総額は165万2,100円となっております。ご寄付をしていただいた皆様には、湖西市を代表して心よりお礼を申し上げます。また何よりも、感染拡大防止のため、日々奮闘いただいている医療・福祉関係者、その他市民生活を支えてくださっている関係者の皆様に対して改めて感謝を申し上げます。

なお、国から一人当たり10万円を給付する定額給付金につきましては、8月26日に申請受付を締め切りました。合計の申請数は24,549世帯、対象となる世帯の99.6%となりました。現在、交付手続きを行っており、最終的な数字がまとまりましたら、改めてご報告させていただきます。

#### （新総合計画、MaaS事業等）

さて現在まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、行政・教育・事業者・そして自治会などの皆様も、多くのつらい決断をしてまいりました。学校の休校、夏休みの短縮、海水浴場やプールの閉鎖、おいでん祭、各地区の盆踊りや秋祭りの中止など、子どもたちにとっても、また、大人にとっても楽しみにしていたイベントの多くが中止になり、非常に寂しい思いをしています。

しかしながら、このような時だからこそ、私たち行政に携わっている者は、未来に向かって、前向きに政策を進めていかなければなりません。

現在、新たな総合計画の策定に向けた準備を進めておりますが、7月21日に開催された総合計画審議会において、「ひと・自然・業がつながり未来へ続く わがまち KOSAI」というキャッチフレーズのご承認をいただきました。新型コロナの影響でやむを得ず延期していた「市民意識調査」及びその集計も、現在行っているところです。市民の皆様のご意見やご要望に正面から耳を傾け、湖西市が将来にわたって持続可能な発展を目指すべく、前向きかつ具体的な総合計画を策定してまいりたいと考えています。

さらに、これは明るい話題として、経済産業省と国土交通省が進めている新しいモビリティサービスの社会を目指す地域を応援する「スマートモビリティチャレンジ」プロジェクトの中で、地域 MaaS 創出推進事業において、本市の企業シャトル BaaS 事業が全国 16 の先進パイロット地域の一つとして選ばれました。今後は企業のシャトルバスに地域住民が乗車する仕組みを構築するための実証実験を、市内企業等との連携の下、年内に実施

するほか、事業の有効性等に関する調査研究を産学官が連携して取り組んでまいります。県に対しても、本事業で第2期ふじのくにフロンティア推進エリアの認定申請を行うとともに、湖西版 MaaS 計画を策定してまいりたいと考えています。

また、地域の産業・物流・防災・観光等に大きな効果のあるインフラとして、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）についても、先般の3ルート案の公表により地域の方々から期待の声をお聞きすることも多くなりました。間もなく国交省による第2回アンケートが予定されていると聞いています。早期実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

浜名湖西岸土地区画整理、関連する大倉戸茶屋松線の工事も、順調に進んでいます。地権者・関係者の皆様のご尽力により「浜名湖西岸土地区画整理組合」の設立総会が開催され、報道等にもあったとおり、トヨタ自動車は本地を直接購入することで、手続きを進めていただいております。令和5年夏の一部操業開始に向け、市としても関係者と連携し、着実に事業を進めてまいります。

#### （防災関連）

7月には九州北部を中心に、記録的な豪雨もありました。まだまだ災害の爪跡が残っている状況ですが、一日も早い復旧を願う次第です。その中で昨日9月1日は、防災の日でした。今年の訓練は、いくつかの自主防災会では避難訓練を実施したところもありましたが、全体としては新型コロナウイルスの影響から、資機材の点検や衛星携帯電話による応答訓練のみにするなど、縮小した訓練となりました。

市におきましては、対策本部の運営訓練や各班ごとに新型コロナウイルス感染症対策にも備えた訓練を実施し、その手順の検証・確認をいたしました。また、コロナ下における避難所運営に対応するため、段ボール製の避難所用間仕切り、非接触型の体温計、マスクや消毒液などの資機材を購入し、災害発生時における備えを進めているところです。

加えて、新型コロナウイルス感染症を踏まえた内容となるよう、「湖西市指定避難所マニュアル共通編」を改定いたしました。今後、各避難所における「避難所運営連絡会」の開催に合わせ配布・説明をさせていただき、避難所毎の避難所運営マニュアルの改訂作業を順次進めていく予定です。いつどこで起こるかわからない災害に対しての備えを、引き続き進めてまいりたいと考えています。

これから台風シーズンをむかえます。市民の皆様には、8月30日から9月5日までの防災週間にあわせ、2年前の大規模かつ長期の停電などの経験を活かすとともに、避難所に限らず親戚・知人宅などへの分散避難など、災害リスクを踏まえた適切な避難場所や避難所をあらかじめ確認したり、マスク・体温計など感染症対策を意識した備蓄品の点検・準備などを進め、ご家族でも防災について考える機会にさせていただきたいと思っています。

(ギガスクール・端末関連)

次に、行政におけるデジタル化の推進です。新型コロナウイルスの感染拡大により、行政におけるデジタル化・オンライン化が進んでいないことが浮き彫りになりました。国はポストコロナに向けた骨太の方針2020において、「デジタル化への集中投資」を掲げており、今後、オンライン会議、リモートワーク、オンライン診療など、これまで手を付けられなかったデジタル改革が急速に進むことが予想されます。

湖西市としても、デジタル・スマートシティの実現に向け、今後、公共施設のオンライン予約や、公共料金・税金の支払いのキャッシュレス化など、行政サービスにおけるICTの活用を積極的に推進してまいります。その1つとして、GIGAスクール構想の実現に向けた補正予算を本議会に計上させていただきました。

この補正予算により、市内小中学校（小学1年生から中学3年生）のすべての児童生徒が「1人1台」を利用できる学習用端末を整備し、時代に対応したICT教育を推進してまいります。

緊急事態においても、オンライン学習により子どもの学びを止めることのないよう、将来の湖西市を担う子どもたちのための教育環境の整備は、最優先で取り組んでまいります。

(結び)

さて、今回の9月議会に提案させていただく案件は、決算、条例改正、補正予算など20件です。後ほど提案理由を説明させていただきますので、前向きかつ建設的なご議論、ご審議を賜りますようお願い申し上げます。

以上で私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

(以上)